

王 練
(Wang Lian)



中華女子学院副教授

華西医科大学公共衛生専攻学科卒。現在中華女子学院児童発達と教育学院院長、修士課程指導教師、中国就学前教育研究会健康専門委員会常任委員、北京市就学前教育学会理事。

専門は就学前児童健康と保健、児童栄養、幼児教諭育成。主な著作と論文は『幼児営業学』、『中国家庭子女教育 0-3 歳児童保育保護者読本』、『成長の困惑 子供達の問題行為を告別する』、『保育士 国家職業資格育成教程』（副編集長）、『中米幼児交際衝突と教師管理の異文化比較』、『女子校大学生の科学修養における調査分析と対策』、『中華女子学院就学前教育学部特色専攻建設の実践と思考』など。

流動児童の親から子どもへの教育期待及び教育現状調査
-北京市皮村における調査を例にして

「流動児童」とは他の地域から都市に入り、その都市で半年あるいはそれ以上居住し、戸籍登録を変更していない 0-14 歳の児童をいう(馬国慶、2008)。流動児童現象というのは最近 10 年余農村が都市化する変革の中に起きた社会問題である。大勢の就学前児童が農村或は経済的に遅れている地域から両親とともに都市に移動し、中には移動した都市で生まれた子どももいる。戸籍、経済、居住環境などの諸要素によって、多数の流動児童が教育上不利な状態に立たされる。流動児童が教育を受ける現状及び保護者が希望する子どもの教育を調査することが、違う視点から子どもと保護者の需要を理解するのに役立つ。それによって流動児童に適切な就学前教育を提供し、教育の公平性という目標の実現を促進する。

本研究では独自の調査票を作り、皮村を調査対象とし、子どもが教育を受けることについて流動児童の保護者の意識に関する調査を行った。105 部の有効調査票を回収し、21 人の流動児童の保護者にインタビューし、その上、皮村にある 6 校の就学前機関の現地調査を行った。

調査結果：(1)保護者達は自分の子どもに対して非常に大きな期待をかけている。子どもが高い学歴を得て、社会的地位の高い仕事に就き、豊かで幸福な生活を送ってほしいという保護者の希望がある。(2)保護者は就学前教育に大きな期待を持っている。子どもが幼稚園で知識を得、よい生活習慣と規範を身につけて、社会性を発達させることを希望している。低費用、近距離、高教育水準の教育を受けることや、責任感があり子どもの母親みたいな教師を希望している。(3)現有の就学前教育機関の教育環境が悪い。教師のレベルがまちまちで人事変動が激しい。教育施設や教育物資が欠乏している。教育レベルを高めなければならない。周辺環境が悪い。

調査から私たちの提案

(1)国家及び地域政策は、弱勢である流動児童を重視し、農村及び都市中心部以外の幼稚園と保育園を助成し、流動児童に質の高い教育を提供することによって教育の公平性を実現すること。(2)流動児童の家庭教育環境を改善するために保護者達向けの教育指導活動を展開し、流動保護者に対し家庭教育支援を提供すること。